

【邦人被害】カスコ・アンティグオ付近でのすり発生について

令和4年2月16日
在パナマ日本国大使館

以下の邦人が被害のあったすり事案がありましたので、情報共有いたします。

2月4日（金）午後12時頃、パナマ市サンタ・アナ地区5 de Mayo付近から観光地であるカスコ・アンティグオに徒歩で向かった邦人2名は、少し狭い歩道に差し掛かったところで、正面から歩いてきた二人組の一人と肩がぶつかり、その約10秒後、ズボンの前ポケットに入れていたスマートフォンが無くなっていることに気付いたため、振り返り、接触した二人組を探すも既にその場から立ち去っていました。接触する直前までスマートフォンが手元にあったため、肩が接触した際にすりの被害に遭ったと想定されます。

月間約170件の盗難相談のうち、約60件（約35%）がスマートフォン等の盗難に関するものです。在留邦人の皆様におかれましては、このような盗難事件が発生していることを再認識いただき、くれぐれも、同様の事件に巻き込まれることがないように、外出の際は、周囲の状況に気を配るなど、犯罪被害防止に心がけていただくようよろしくお願いいたします。

